

ACCESS

大阪大学吹田キャンパスへのアクセス



吹田キャンパスマップ



空港

大阪空港(伊丹)から

- 大阪モノレール「阪大病院前」下車 徒歩約5分

関西国際空港から

- JR「大阪」下車→(乗換)地下鉄御堂筋線「千里中央」下車→(乗換)大阪モノレール「阪大病院前」下車 徒歩約5分
- 南海本線「難波」下車→(乗換)地下鉄御堂筋線「千里中央」下車→(乗換)大阪モノレール「阪大病院前」下車 徒歩約5分
- リムジンバス「大阪駅」下車→(乗換)地下鉄御堂筋線「千里中央」下車→(乗換)大阪モノレール「阪大病院前」下車 徒歩約5分

電車

- 大阪モノレール「阪大病院前」下車 徒歩約5分
- 阪急千里線「北千里」下車 徒歩約20分

バス

阪急バス

- 千里中央発「阪大本部前行」または「茨木美穂ヶ丘行」乗車
- 北千里発「阪大病院線」乗車 ※千里中央発、北千里経由もあります。

近鉄バス

- 阪急茨木市駅発「阪大本部前行」(JR茨木駅経由)乗車
- いづれのバスも「阪大医学部前」「阪大医学部病院前」下車 徒歩約5分

医療機器の開発に取り組む企業の皆さんへ

国立研究開発法人日本医療研究開発機構補助事業

国産医療機器 創出促進基盤整備等事業 のご案内



プログラムのご紹介 プログラムは4つで構成されます。

本プログラムは、医療機器の研究開発に取り組む企業に病院の実臨床部門を開放し、革新的な医療機器の開発につながる「医療ニーズ」を医師とともに発見、選別し、自社技術とマッチングさせて具体的な研究開発へとつなげていく過程で、真の産学連携の担い手となる新しい「開発人材」を育成するものです。プログラムを通して優れたニーズが見出された場合は、実際の機器開発プロジェクトを立ち上げ、事業化をめざします。

01 座学・セミナー

各界から招聘した講師が医療機器ビジネスを概観し、開発につながるニーズの探し方・選び方、兼業や保険償還制度、品質・製造管理についての基礎知識、事業性の評価や市場の調査・分析法、さらには知財戦略にいたるまで、わかりやすく解説します。また、現役ドクターが、開発に携わる企業人材として知っておきたい基礎的な医学知識（解剖や用語等）や医療現場の現状を概説します。内視鏡や電気メス等、ふだん触れる機会の少ない実際の医療機器に触れ、操作を体感してもらう「ハンズオン・セミナー」も併せて実施します。



02 臨床実習

「座学・セミナー」受講者を対象に、本学医学部附属病院の実臨床部門において臨床実習を実施します。参加者は医師らのガイドのもと、一定期間、病院外来、検査室、病棟、手術室等への立ち入り（視察）が認められます。企業人材を医療現場に受け入れることで、医療関係者との円滑なコミュニケーション・スキルを身につけてもらうとともに、医療関係者には当たり前過ぎて見えづらくなっている「真の医療ニーズ」の発見につなげよう、というものです。



●参加費は無料です。ただしセミナーや実習等で使用する教材については一部で実費負担をお願いすることがあります。

●これから医療機器業界へ新規参入しようという企業を特に歓迎します。

03 ニーズ検討会

座学や実習を通じて見出された新たな「医療ニーズ」や「アイデア」を持ち寄り、ワークショップ形式の「ニーズ検討会」を実施します。参加者は、得られたニーズを医療機器の専門家とともに様々な角度から検討し、真の機器開発につながりそうなニーズのみを選別していく手法を学びます。ワークショップには専門家（ファシリテータ）がアテンドし、最新のファシリテーション・スキルを用いてアイデアの発散と集束をお手伝いします。



04 交流シンポジウム

本プログラムへの取り組みの過程で得られた知見を、本事業に参加している他医療機関、大学や企業との間で共有する「交流シンポジウム」を開催します。座学・実習参加者は「シンポジスト」として自らの体験や得られたアイデアを医師や企業に紹介します。シンポジウムを通じて、産と学の新たなマッチングの成立もめざします。



これらニーズ検討会や交流シンポジウムを通して、企業人材は産と学をブリッジする開発人材としてのコミュニケーション・スキルを磨くとともに、医療関係者や異業種の人々と広くネットワークする力を身につけます。

進捗管理責任者

大阪大学 消化器外科学・次世代内視鏡治療学 中島 清一

お問い合わせ先

大阪大学次世代内視鏡治療学共同研究部門 担当：安田
大阪大学国際医工情報センター 次世代内視鏡治療学共同研究部門 内
〒565-0871 吹田市山田丘2-2 最先端医療イノベーションセンター棟 9912
TEL:06-6210-8420 FAX:06-6210-8424 project_engine@me.com

01 座学・セミナー

初級コース 7/20 大阪大学 マルチメディアホール
中級コース 11/6 大阪大学 銀杏会館 大会議室

02 臨床実習

第1クール 8/27～29 大阪大学 医学部附属病院
第2クール 9/3～5 大阪大学 医学部附属病院

03 ニーズ検討会

集中検討会 9/21 大阪大学 中之島センター

04 交流シンポジウム

平成31年1月25日 大阪大学 中之島センター

※ 開催場所は変更になる可能性があります。

- 各プログラムとも受け入れ可能人数に限りがあります。あらかじめご了承ください。
- 臨床実習への参加を希望される方は、01から04の全プログラムへの参加（通年エントリー）が必須条件となります。
- 通年エントリーをご希望の方は、4月末日までに下記メール宛ご連絡ください。

メールアドレス: project_engine@me.com

- セミナーやシンポジウムのみへの参加も可能ですのでお問い合わせ下さい。

全プログラム 参加無料！



**Design and
Research
Initiatives for
Virtual
Engineering**

powered by
ENGINE



次世代内視鏡治療学共同研究部門（プロジェクトENGINE） 大阪大学国際医工情報センター
〒565-0871 吹田市山田丘2-2 最先端医療イノベーションセンター棟912
TEL : 06-6210-8422 FAX : 06-6210-8424 MAIL : project_engine@me.com



国立研究開発法人日本医療研究開発機構補助事業の一環として取り組んで参りました「ものづくり工房」DRIVE (Design and Research Initiatives for Virtual Engineering) がついに完成いたしました。

3D スキャナー、3D プリンター、ワークステーション、グラフィックソフト等を備えており、医療機器開発・試作に欠かせないバーチャル・エンジニアリング、特にラピッド・プロトタイピングの手法を開発人材の方々に学んでもらうためのシステムです。

人材育成事業「国産医療機器創出促進基盤整備等事業」にこれまで参加いただいた方、あるいは今年度プログラムに参加いただく予定の企業様に、3D 機器を無料でハンズオン体験いただくことを目的としております。今後はワークショップ形式の初心者向け講習会も開催していく予定です。

アイデアをその場でカタチにし、試作や開発につなげていこうという新たな試みです。是非ご体感ください。





DRIVE(ものづくり工房)

初心者ワークショップ

3Dスキャニング～プリンティング体験

大阪大学 次世代内視鏡治療学共同研究部門(プロジェクトENGINE)では、「国立研究開発法人 日本医療研究開発機構補助事業」の一環として、医療機器の開発人材の方々を対象に、医療機器開発・試作におけるバーチャル・エンジニアリング、特にラピッドプロトタイピング手法を学ぶ場を提供いたします。

汎用性の高い、導入しやすい3Dスキャナー、3Dプリンター、ワークステーション、グラフィックソフト等を備えております。

30分程度の機器説明の後、実際に機器を操作していただく無料のワークショップです。是非、ご参加ください。

参加費無料

開催予定日

第1回:2018/10/11 15:00～17:00

第2回:2018/11/29 15:00～17:00

第3回:2019/1/31 15:00～17:00

参加対象者:原則として

平成26年度～29年度「国産医療機器創出促進基盤整備等事業」に参加経験のある方

平成30年度国産医療機器創出促進基盤整備等事業に参加予定の方

お申し込みはこちらまで

<https://goo.gl/forms/viH2bT9yXxiwHC1m1>



次世代内視鏡治療学共同研究部門
(プロジェクトENGINE)

大阪大学国際医工情報センター

〒565-0871吹田市山田丘2-2

最先端医療イノベーションセンター棟912

TEL:06-6210-8422 FAX:06-6210-8424

MAIL:project_engine@me.com

